演習問題 2.26

非常に有用な線形代数の結果である「 Woodbury **行列反転公式** (Woodbury matrix inversion formula) 」は、

$$(\mathbf{A} + \mathbf{B} \mathbf{C} \mathbf{D})^{-1} = \mathbf{A}^{-1} - \mathbf{A}^{-1} \mathbf{B} (\mathbf{C}^{-1} + \mathbf{D} \mathbf{A}^{-1} \mathbf{B})^{-1} \mathbf{D} \mathbf{A}^{-1}$$
... (2.289)

である。この両辺に (A + BCD) を掛けて、この公式を証明せよ。

[解]

Woodbury 行列反転公式 (2.289) が成り立つことを証明する。これには、式 (2.289) の 左側から(A + BCD) を掛けることにより、

が成立することを証明すればよいので、式 ※ の左辺より、

式 ※ の左辺 = (A + BCD) {
$$A^{-1} - A^{-1}B(C^{-1} + DA^{-1}B)^{-1}DA^{-1}$$
 }
$$= AA^{-1} - AA^{-1}B(C^{-1} + DA^{-1}B)^{-1}DA^{-1}$$
+ BCDA⁻¹ - BCDA⁻¹B(C⁻¹ + DA⁻¹B)⁻¹DA⁻¹

$$= I - B(C^{-1} + DA^{-1}B)^{-1}DA^{-1}$$
+ BCDA⁻¹ - BCDA⁻¹B(C⁻¹ + DA⁻¹B)⁻¹DA⁻¹

··· **※**※

と整理できる。ここで、上記の式の第2,4項を整理していくと、

と整理できる。よって、式 ※※ は、

となり、式 ※ が成立することが示せたので、Woodbury 行列反転公式 (2.289) が成立することが証明された。